

「汐風を食べてみませんか。」は、DC南三陸町推進協議会のキャッチフレーズです。DCとは、仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの通称で、JRと地域が一体となって展開する全国大型観光宣伝事業のことです。

汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきた

フォトコンテストの応募総数は393作品

昨年からの募集をしておりましたフォトコンテストの応募作品が出そろいました。一般写真の部は253点、水中写真の部は140点の、合計393点の応募がありました。町内の写真愛好家などの皆さんや、遠くは兵庫県からも応募をいただき、本当にありがとうございました。

現在、入賞作品の審査を行っており2月9日(土)に町総合体育館ベイサイドアリーナで開催される「さかなクンin南三陸」の際に、すべての応募作品を展示する予定です。展示は次の日程で行いますので、ぜひご覧ください。

◇フォトコンテスト応募作品展示

2月9日(土)～17日(日) ベイサイドアリーナ (12日(火)は休館日)

2月19日(火)～26日(火) 歌津公民館

また、入賞作品を、2月中旬に南三陸町観光協会のホームページに掲載する予定です。こちらもぜひご覧ください。

※フォトコンテスト審査結果に関するお問い合わせは、2月10日(日)以降、南三陸町観光協会をお願いします。



水中カメラマン佐藤長明氏撮影



～フォトコンイメージ写真～

地域の魅力を伝えよう! ～南三陸町地域ガイド認定試験～

DC南三陸町推進協議会では、今年10月から12月に開催されるDCをきっかけに、この町を語り継ぐ人材の育成に取り組んでいます。この認定試験は、合格者に「地域ガイド認定証」を交付することにより、正式に南三陸町公認地域ガイド名簿に登録し、この町を訪れる人々への案内役として活躍していただくことを目的に実施するものです。皆さんの言葉とおもてなしの心で、地域の魅力を伝えてみませんか。

◇試験日時 3月16日(日) 午前10時～

◇会場 役場(本庁) 大会議室

◇受験料 無料

◇申込締切 2月29日(金)

◇申込先 DC南三陸町推進協議会事務局

◇その他 現在認定試験に向け、これまでの「ふるさと観光講座」の内容などを踏まえ短期集中講座を開催しております。認定試験問題のポイントやガイドとしての基礎知識を楽しく学ぶことができます。ぜひご参加ください。

※地域ガイド養成短期集中講座 毎週火曜日午後7時から(会場は開催日により異なりますので、詳しくはDC南三陸町推進協議会事務局までご連絡ください。)

おもてなしの心もひとつ

県DC推進協議会事務局では、DCのイメージキャラクターである「むすび丸」をモチーフに、さまざまなキャラクターグッズを販売しています。

「おもてなしの心」の統一シンボルとして、あなたの職場や仲間内にも広めてみませんか?

なんと!最近むすび丸が秘かに、縁結びのご利益があるとの新伝説が広まっています。むすび丸の名称と可愛らしさから生まれた模様です。

むすび丸グッズを通じて、多くの方に幸せが訪れるといいですね!

ピンパッチ(200円)
缶パッチ(100円)

お問い合わせ
DC南三陸町推進協議会

DC南三陸町推進協議会事務局から町民の皆さんへ

昨年10月から12月に開催されたプレキャンペーンでは、地域の皆さんのたくさんのご協力により、予定していた各事業を無事に終了することができました。本当にありがとうございました。今年の本番キャンペーンではさらに南三陸町の魅力を発信できるよう、より一層のご協力をお願いいたします。

◇お問い合わせ DC南三陸町推進協議会

庄内の風 ⑰

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

米と水と風のハーモニー「地酒」
米どころの庄内地方には多くの酒蔵があります。この酒蔵でも米、水といった素材を活かした酒造りが行われ、それぞれに特色のある酒となっています。庄内町でも2軒の酒蔵があり創業から受け継がれてきた手法による日本酒を造っています。日本酒は、米と水を原料として麹により糖がつくられ、これに酵母が加わり発酵して造られます。技術や機器の発達により進化していますが、酒蔵の長である杜氏を中心に蔵人達の手により、「麹」と「酵母」の力を借りて造る方法は変わっていません。庄内町には



米どころの庄内地方の地酒

問い合わせ 鯉川酒造 ☎0234-43-2005
やまと桜 ☎0234-42-3013

「鯉川」、「やまと桜」といった銘柄の地酒があります。また、幻の米「亀ノ尾」は酒造好適米としても有名であり、「亀ノ尾」で造られた銘酒は広くアメリカ、ヨーロッパ諸国へも輸出されています。南三陸町の新鮮な魚介類に合うと思えますので、ぜひお試しください。

今年も故郷で新年を迎え、例年のごとく忙しく、にぎやかなお正月を楽しんで過ごしてきました。そして久しぶりに気仙沼線を使って、活動の場である東京へと戻りました。その折、ちよつと寂しく、そして複雑な思いを残したまま……。なつかしい言葉が飛び交う気仙沼線内は、立っている人もかなり多く、混雑していましたが、長いすに座っている人たちのマナーの悪さに、思わず眉をひそめてしまいました。

やはり2人分から3人分の席を使う人、などなど。少し譲り合えば、もっと多くの人がちが座れるのにと! 一つの頃から人は思いやりや気遣いを少しずつなくしていったのだろうと、考えずにはいられませんでした。「人々は残酷です。しかし人間は優しい。」(インドの詩聖タゴール) 故郷を出た者にとっては、いつまでも「人に優しい故郷」であって欲しい。 2008年 自分も含め、もう一度おのれを見つめ直し、優しい自分を取り戻す年にしたいものです。

夢大使 リレー通信 ⑱



夢大使 小島りち子さん (東京都)

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、オペラ歌手の小島りち子さんです。

優しい故郷へ

お詫びと訂正
先月号の「夢大使通信⑱」で誤字がありました。このため、執筆者である佐藤啓さんの意と異なる解釈をしよう表現となってしまうました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。 訂正箇所の前後の文章を次のとおり再掲します。

こんなニュースに出合うたび、私は遙かな開業時を思い出してしまう。資金が足りず借金をした。担保も求めず、ポンと快く貸してくれたその人はその時こんな言葉を添えてくれた。
『儲けるんじゃないんですよ。儲かる商売をなさい。』
始めに儲けの数字を考えるとどうしても商売が濁ります。ムリやゴマカシが必要になってきて、そのうち平気でウソまでつくようになってるんです。人様に喜んでいただけることをひたすら一所懸命におやりなさい。そうすれば、いつの日か必ず信頼してもらえます。その結果として儲かるようになりますよ。』